

---

# リアル「ギルド」

りす君

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

リアル「ギルド」

### 【Nコード】

N3156B

### 【作者名】

りす君

### 【あらすじ】

バンプの名曲から作成した、ある仕事をしている女性のリアルな話。

## （前書き）

カンカンカン…と、最後の所で流れ続ける効果音で思いついたのがこの作品でした。

私は、25才で刀鍛冶屋かたなかじの手伝いをしている。給料は…安い、仕方がないか…。今時、鍛冶屋など聞いた事が無い人だっているのだから。

主に鍛冶屋の仕事は、顧客からの注文が来ないと始まらない。注文が来たら、鉄に熱を加えて、変形しやすくしてから金槌で叩く。ここで疑問だが、ことわざで“鉄は熱い内に打て”があるが、これから来ているのかな？

やがて、鉄は研かれて鋭い刃物に変型してモノになる。私はこの作業の手伝いをもう3年もやっているのだ。仕事自体ハードだし、疲労が溜るし、平気で汚れる。しかし不景気な今の時代、ここをクビになったら…と思うと嫌でも頑張らなければならない。

やはり、労働基準法で女性は、朝一から夜遅くまで働けず、ここで働いている男性より給料は安い。でも、辞められない。私にだって生活がある。

今日も金属を叩く音が職場に響き渡る。それも、一定のリズムで鳴っている。皆、仕事中は集中してるので無口だ。ただひたすら熱された鉄を金槌で叩く、叩く。

私は飽々していた、これは私が心から願った仕事では無いから。やっぱ、意を決して辞めようかな…と思った。が、現実は厳しい。

「妙たえ、金槌を交換してくれ。」

と、私を呼ぶ声に私は笑顔で答える。

「はい。今、渡しますよ。」

泣けてくる、ダサい私。てか、職場の人間から私は頼られているのだろうか？愛されているのだろうか？正直、不安だ。

でも、一つだけ解っている事がある。それは前の仕事、証券会社入

社後にちよつとしたミスでクビになつてしまった短きOL時代より、今の私は確実に輝いている事だ。私なりに努力している。上出来の刃物が出来る度に私は仕事での“涙”を流す。苦しさでは無くて、喜ばしいからだ。

私は今日も鉄を打つ、ひたすら打ち続ける…

（後書き）

読んで頂き、ありがとうございました。よろしかったら評価・感想を頂けると嬉しい限りです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3156b/>

---

リアル「ギルド」

2011年3月26日06時49分発行